

青山地区でワークショップが開催されました

青山地区まちづくり協議会（遠藤政幸会長）では、昨年策定した青山地区の地域づくり計画「人のわでみんな元気なまち青山」の内容を充実させるため、2月17日にワークショップを青山地区活動センターで開催しました。

当日は、小学生10人を含む約50人の地区の皆さんが参加しました。

今回のワークショップは、「自分たちが参加したくなる、イベントを考える」ことを目標としました。

ワークショップでは、最初に本年度の事業の実施状況について報告があり、その後6班に分かれ、あらかじめ設定した6つのテーマから、各班で具体的な事業内容の検討を行いました。最後には参加者全員の投票を行い、1位となった企画案を来年度の事業として実施を検討したい旨の説明があり、各班とも事業の企画に真剣に取り組んでいました。



各班の事業企画は、①青山さくらまつり、②青山夏まつり、③まちあるき、④青山こどもまつり、青山なんでも談話室（世代間交流サロン）⑥青山雪あかりのテーマごとに発表しましたが、各班の内容は相当充実しており、すぐに事業の企画として活用できるものばかりでした。



最後に、参加者全員による投票の結果、小学生チームが提案した「青山さくらまつり」の企画案が、圧倒的な差をつけて1位を獲得し、平成25年度の事業として実施を検討することとなりました。

青山地区では、「青山さくらまつり」をはじめとして、今回のワークショップで出された意見を次年度以降の事業企画に結び付けていくこととしています。

本年度の活動の振り返りを通じて、次年度以降の活動を充実していくための方法の一つとして、注目されます。

ワークショップでの中学生の意見も踏まえた 計画策定を進めています！

～渋民地区自治会連絡協議会の取組状況の紹介～

渋民地区自治会連絡協議会（佐々木由勝会長）では、地域づくり計画の策定のため、中学生を対象としたワークショップを開催し、地域の魅力や課題を考えました。

地域の未来を担う皆さんの意見が、計画にどのように反映されるかをご紹介します。

○中学生のワークショップでの意見

地区の好きな・自慢できるところ

- 豊かな自然環境や良好な景観
- 温泉や養殖場がある
- 農業が盛ん
- 生湧口やメガソーラー
- 犯罪の少なさや優しい人が多い
- 石川啄木のふるさと
- 自然を使った遊びがある



(ワークショップの様子)

役員会での検討



役員会でどう反映するか検討中

渋民地区地域づくり計画

活動テーマ

- ①啄木の里づくり
- ②自然景観・歴史文化を活かした里づくり
- ③湧水と自然エネルギーによる里づくり
- ④安全安心な農畜産物による里づくり

⑤利便性に恵まれた安全な里づくり

- ・スクールガード事業の継続実施
- ・交通安全・防犯啓蒙活動の強化

→小中学生や高齢者の安全安心を地域全体でサポート

中学生からの意見も計画に反映！

地区の生活で困っていること

特に多く寄せられた意見！

- 歩道や街灯が少なく、通学に不安
- 車がスピードを出して怖い

- 地域に働く場が不足
- 公共交通機関が不便、料金が安い
- 公共施設や商店の不足

今月の一コマ



今月は、2月8～9日に開催された「青山雪あかり」の様子です。昨年6月に開館した盛岡ふれあい覆馬場プラザを会場に開催されましたが、覆馬場プラザの赤レンガとスノーキャンドルが見事にマッチしていました。

このスノーキャンドルは、厨川中学校の生徒の皆さんを中心に、地域の皆さんが力を合わせて、寒い中一所懸命に製作したものです。

8日午後5時からの点灯式でも、厨川中学生の生徒の皆さんは、寒さにも負けずに合唱を披露したほか、キャンドル点灯に頑張っている姿がとても印象的でした。